



# 買物公園エリア

## ロードマップ<sup>(案)</sup>

未来ビジョン実現のためのアクション

買物公園エリアロードマップ

～未来ビジョン実現のためのアクション～

発行：2026年3月

発行者：買物公園エリアプラットフォーム・旭川市

アートディレクション：ゲンママコト（カギカッコ）



2025年まちに計画の様子

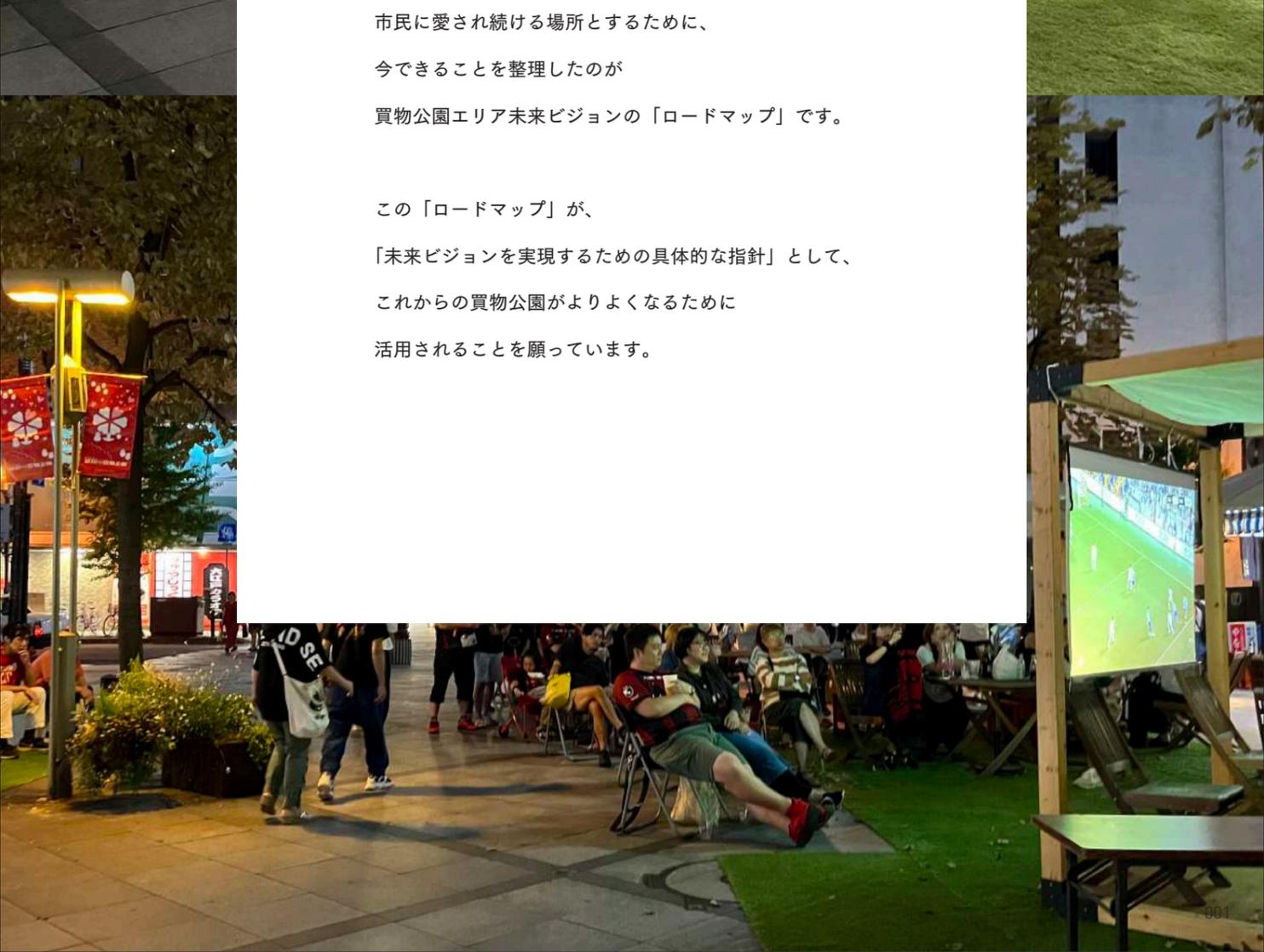


# PROLOGUE

## はじめに

買物公園は旭川の顔といえる重要な場所です。  
買物公園エリアを今後もたくさんの方に使っていただき、  
市民に愛され続ける場所とするために、  
今できることを整理したのが  
買物公園エリア未来ビジョンの「ロードマップ」です。

この「ロードマップ」が、  
「未来ビジョンを実現するための具体的な指針」として、  
これからの買物公園がよりよくなるために  
活用されることを願っています。



# 01 | 背景と目的 ①

## 平和通買物公園は まもなく60年

買物公園が日本で最初の恒久的な歩行者天国として生まれてから、2022年に50周年を迎えました。いろいろな時代の変化の中で、これからの買物公園のあり方を検討し、試してみる取り組みが、2023年以降続いています。

### 1969-1972

初代買物公園

**社会実験 買物公園オープン**  
官と民が手を取り合った社会実験から始まり、1972年6月1日から恒久的な歩行者天国となりました



### 2002-2005

2代目買物公園

**30周年リニューアル 北の賑わい回廊社会実験**  
2002年には、路面が石盤舗装でフラット化されました。現在でもこの姿が保たれています



### 2022

50周年事業

### 2023

買物公園が目指す姿を議論する

あり方検討会議 (全8回) → エリアプラットフォーム組成

未来ビジョン完成

### 2024

目指す姿を実験して効果を検証する

**社会実験「まちにち計画」**  
電動モビリティ運行実験  
滞在交流空間の設置  
バスキングの実施  
自主コンテンツ実施

まちづくりスクール  
アーカイブフォーラム

### 2025

**社会実験「まちにち計画」**  
滞在交流空間の設置  
バスキングの実施  
自主コンテンツ実施  
旭川夜市開催

まちにち SCHOOL  
グッドデザイン賞受賞

### 2026

未来の買物公園をつくる仲間を増やす

→ エリアプラットフォーム組成 → エリブラ会議 (5回) → エリブラ会議 (4回) → ロードマップ

未来ビジョンで示した将来像を日常とするためのアクションが必要!

014p  
に続く

## 2024

「買物公園エリア未来ビジョン」では、将来のまちづくりの方向性を描きました。

対象となるのは平和通のみならず、買物公園周辺の街区等も含んだ「買物公園エリア」。

旭川市全体や道北地域にとっても重要な「旭川の顔」ともいえるエリアですが、現在では、人口の減少、ライフスタイルの変化、空き店舗・空き地などの増加、大型店舗の撤退などの課題を抱えています。

官民連携組織であるエリアプラットフォームでは、買物公園が目指すべき将来像を「未来ビジョン」として描きました。



目指す将来像

わたしの「毎日」がここにある

エリアイメージ

素敵な自分でいられるエリア  
行きたい・歩きたくなるエリア  
やりたいが自由に実現できるエリア

取り組みイメージ

誰もがチャレンジできる場・仕組みづくり

- ① 空き店舗・空き地などの活用促進
- ② 公共空間の活用促進 2024-25 実験

みんなとつながる効果的な情報発信

- ① 交通結節点での効果的な情報発信 2024-25 実験
- ② エリアの価値を高めるための情報共有の場づくり 2024-25 実験

どんな時も居心地よく・回遊しやすいエリア形成

- ① 誰もが利用できる滞在空間（屋内・屋外）の設置 2024-25 実験
- ② 滞在空間や周辺エリアとつなぐ移動手段の導入 2024 実験

沿道がつながるブランディングされた一体的な街並み形成

- ① 沿道建物などの一体的な街並み
- ② エリアの求心力向上



未来ビジョンの詳細はこちらから

## 2025

2024・2025年の社会実験「まちにち計画」での取り組みは、未来ビジョンの「わたしの『毎日』がここにある」の実現に寄与しています。

未来ビジョンの実現に向けて、2カ年にわたって

8月～9月の社会実験を企画・実施しました。

結果、新しい買物公園の利活用が見られました。

社会実験の内容

滞在交流空間の設置

4箇所、人工芝やベンチ・スツールなどによる滞在空間を設置しました

バスキングの実施

ワンストップ申請で買物公園に自由に出演できる仕組みを実施しました

電動モビリティ  
運行実験 (2024)

旭川夜市  
開催 (2025)

自主コンテンツ  
(イベント) 実施



2024年度  
2025年度  
28・44  
日間 日間

効果検証総括 (2025年度)

素敵な自分でいられるエリア

76%の人が社会実験の取り組みを評価  
58%が沿道建物で飲食・買物をしていた  
滞在空間の居心地を75%が評価

行きたい・歩きたくなるエリア

座る場所を7.5倍設置  
→ 滞在のべ人数が7.0倍に増加した  
(ゾーンI 期間前後日曜日の比較)  
社会実験前に比べて通行量は増加  
夜イベント時は夜も通行量増

やりたいが自由に実現できるエリア

費用有料化でも出展ニーズあり (5件/日)  
バスキングの出展者満足度97%  
バスキングにまた出展したい人92%  
新しい企画が多数生まれた  
盆踊りのような地域イベントが復活した



2024年



2025年

社会実験と効果検証の詳細はこちらから

## ロードマップとは、 「未来ビジョンを実現するための 具体的な指針」です。

今のままだと、どうビジョンを実現して良いのか分からない。今のまま何もしないと、じわりじわりと現在の課題が進行してしまう……。今後取るべきアクションが把握できるようにまとめたのが、このロードマップです。買物公園エリアに関わる組織、エリアプラットフォームにとって、目指すべき先を見つける指針として活用していただくことを想定しています。

このロードマップでは、買物公園  
60周年を迎える2032年を目標年  
次とし、未来ビジョンに向かって  
いく姿を描きます。

### 買物公園エリア 未来ビジョン Ver1.0 (2024)

### 買物公園エリア ロードマップ Ver1.0 (2026)

#### エリアが目指す空間像

2032年までに実現したい  
目指すべき空間像を  
まとめます

006-011  
ページ

#### エリアに必要な組織

2032年までに  
エリアに必要な  
組織のあり方を整理します

012-013  
ページ

#### アクションプラン

テーマごとに  
これから行うべきアクションを  
時系列で整理します

014-019  
ページ

今後、達成状況や色々な課題を把握しつつ、状況に応じてロードマップを見直し、アップデートをしていきます



買物公園に関わるすべての方々に、  
読んでいただける資料として作成  
しています。

沿道商店・事業者  
エリアメンバー・まちづくり関係者  
買物公園エリアにお住まいの方  
買物公園エリアに通勤・通学している方  
買物公園エリアを日常的に使っている方

買物公園エリアは、北海道や旭川市のさまざまな計画でも重要な場所だと位置付けられています。未来ビジョンやこのロードマップも、これらの計画と整合を図ります。

#### 第8次旭川市総合計画（H28）

中心市街地での新たな人の流れや  
賑わいづくりが目指される  
豊かな自然を取り込んだ特徴的な都心空間を形成

#### 旭川圏都市計画都市再開発の方針（H18）

平和通買物公園周辺が2項再開発促進地区に指定され、  
高次な都市機能・商業機能を有する  
魅力ある都心空間の形成が目標とされる

#### 旭川市都市計画マスタープラン（H29）

「北海道の広域拠点にふさわしい  
都市機能集積の拠点」と位置付け



#### 旭川圏都市計画 都市計画区域の 整備、開発及び保全の方針（R2）

旭川市の中心市街地として高次な都市機能の  
維持・集積を誘導し、北海道の拠点都市としての  
機能を高める  
まちなか居住の推進並びに都市の防災性能の向上等の  
土地利用転換や土地の高度利用を進め、  
市街地再開発事業や地区計画等の活用による  
計画的な整備改善を推進すべき区域だと指定される

#### 旭川市立地適正化計画（H30）

買物公園エリアは、『都市機能誘導区域』に指定

#### 旭川市中心市街地活性化基本計画（H29）

平和通北エリア、旭川駅前エリアが計画に含まれる

#### 第2次旭川市緑の基本計画（H28）

都心部における効果的なみどりを増やすため、  
ネットワークを形成したり、  
都心緑化を推進することが目指される



[keywords]

中心市街地 / 都心部 / 都市空間 / 高度利用 / 都市機能誘導 / まちなか居住 / 交通結節  
緑のネットワーク / 都心緑化 ……

### コラム そもそも買物公園とは？

五十嵐広三市長の思い（1972年）

市の中心で  
地域の魅力を向上させて  
売上につなげる活性化

花や緑、彫刻や噴水に  
囲まれた広場で人々が交流し、  
自然と対話できる人間のための空間

買物できる  
賑わっている  
人と出会える

買物

公園

誰でも使える  
誰でもいられる  
緑がある

この要素を大事にしつつ…

買物公園を  
にぎわい・交流が  
生まれる  
「ひろば」的空間  
として  
アップデートしていく

（未来ビジョンの考え方）

# 02 | 目指す空間のアイデア①

現在の買物公園では  
イベント等が  
多数開催されています

2002年のリニューアル以後、買物公園エリアは、大規模イベントなどに利用されています。  
未来ビジョンでは、買物公園エリアをそれぞれの特徴などから4つのゾーンに区分しています。



「毎日」過ごせる  
空間を目指すための  
アップデート

買物公園を利用するルールは複雑であるほか、滞在できる場所の不足など、2度の社会実験からいくつかの課題も明らかになりました。「未来ビジョン」実現のため、空間や利用の仕組みをアップデートする必要があります。将来の買物公園の空間を検討しました。

社会実験の効果検証からも、  
買物公園エリアの各ゾーンの特色が  
再確認できています。

南側(ゾーンⅠ)は来街者数が多いが滞在時間が短い  
北側(ゾーンⅣ)は来街者数が少ないが滞在時間が長い  
高校生にとっては7条～8条が買物公園の入口… など

## これからの買物公園の空間の論点となること

### 声・効果検証結果

### 大きな方針

- 現在の買物公園内の樹木の生育不良  
病害、虫害、鳥害等の問題  
もう少し緑を増やしたいという  
来街者の声
- 滞在しやすい空間があると、  
滞在者数が増加し、会話や交流など  
多様なアクティビティが生まれる
- 20代以下の若者の多くが  
「芝生が敷いてある空間」を  
求めている
- 「座ってものが食べられる空間」  
が求められている
- 日中・夜間の出展・イベントで  
より使いやすい空間
- 夏に日除けがあると快適性が増し滞在者数が増加する  
来街者からも「日陰で涼める空間」が求められている
- 利用区域や  
利用できることが分かるサイン・案内
- 広告用のサイネージや  
タペストリーの設置で  
運営費をまかないたい など

- 緑を広域的につなぐ
- 座る場所を作る
- 多様な滞在空間を増やす
- 食べ飲みできる空間を作る
- 夜にもっと利用される仕掛け
- イベントをしやすい設備
- 出展しやすくするしかけ
- 路面に工夫をほどこす
- 周辺街区へ誘導する
- その他

# ZONE 01 北彩都ガーデン・旭川駅～1条周辺

**未来ビジョンでは……**

都会と自然が近接した  
エントランスゾーン

**将来ビジョン**

- ・気軽に行き来できる
- ・都市生活をしながら、豊かな自然も味わえる
- ・誰もが憩える・くつろげる

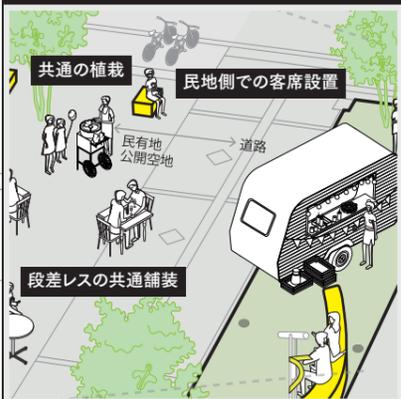
**機能**

- ・結節点に隣接した憩える機能
- ・快適な移動を支援する機能
- ・エリアの魅力を発信する機能
- ・店舗や建物が更新されていく仕組み

**空間テーマ**  
「旭川と買物公園の顔となる緑豊かな玄関口」

**方向性**  
・買物公園の玄関口として、より多くの人を受け入れ、快適に滞在できる場所をつくる。  
・北彩都ガーデン、駅から連続的な緑の景観をつくる

**民地も含めた一体利用・管理**

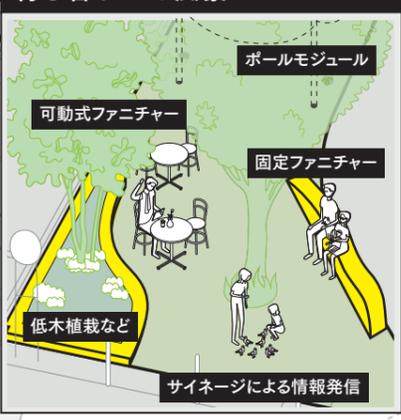


再開発事業と連携した  
エリアマネジメントやイベント

民地における  
エリア情報発信

地面にボールを固定できる  
モジュール（可動式日除け）

**待ち合わせの風景**



**買物公園の広場利用**



買物公園の入口で  
待ち合わせの目印となる  
シンボル

サインージュによる情報発信

北彩都からの連続の植栽

駅前広場との連携

# ZONE 02 2条～4条周辺

**未来ビジョンでは……**

懐かしさと新しさが  
共存するセンターゾーン

**将来ビジョン**

- ・自由に活動できる
- ・「何かやりたくなる」
- ・働く人や飲食する人がさらに居心地よく過ごせる
- ・特色ある建物や空間が活用できる機能

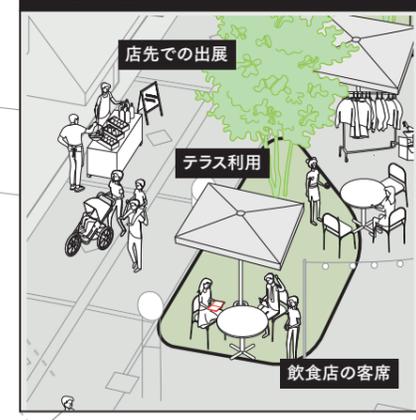
**機能**

- ・居心地良く快適に滞在ができる機能
- ・気軽に滞在ができる機能
- ・働く人や飲食する人がさらに居心地よく過ごせる
- ・特色ある建物や空間が活用できる機能

**空間テーマ**  
「多様な商業や賑わいが沿道からあふれだす仕掛け空間」

**方向性**  
・オープンテラスの展開など、沿道店舗が自分たちの店舗を積極的に路上に広げる仕掛け作りにより、常に賑わっているイメージを醸成。

**沿道店舗の広場利用**



空きテナント等を  
リノベーションした新規出店

テラス・テントだけではなく  
地面にさすボールを利用した照明やパラソル

単管利用の  
照明やパラソル

**買物公園に開かれた建物空間**

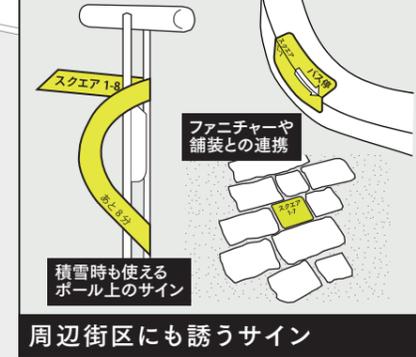


店先での出展

テラス利用

ワゴン出展  
(全ゾーン共通)

**周辺街区にも誘うサイン**



さんろく街、緑橋ビルとの連携

# ZONE 03 5条～6条周辺

**未来ビジョンの振り返り**

食で惹きつける、  
可能性が広がる  
ハートフルゾーン

**将来ビジョン**

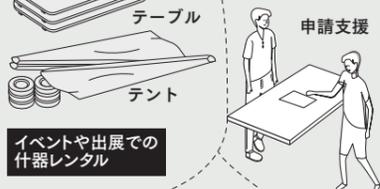
- ・充実した食の魅力
- ・親子連れでも飲食を楽しめる
- ・広いスペースを生かした活動

**機能**

- ・飲食施設がさらに快適になる機能
- ・広いスペースを活用できる機能
- ・親子で楽しみ滞在できる機能

**エリアマネジメントの拠点**

**相談窓口機能**



**子育て支援機能**



**広場利用の管理拠点**

**中間支援組織の拠点**

**キッチンカーと飲食スペース**

**空間を広く使うイベント  
(ステージや電源などの設備)**

**空間を広く使うイベント**



**滞在できる  
固定什器の設置**

**はれて店舗の飲食の  
テイクアウト利用**

**はれて空地の活用**

**買物公園の入口となる  
自転車ラック整備**

**空間テーマ**

「広いスペースと基地がある  
買物公園の中の「広場」的な空間」

**方向性**

- ・エリアマネジメントの取り組みのベース（基地）、情報発信拠点としての位置付け
- ・はれてや飲食店のサービスや滞在が買物公園にもにじみ出す仕掛け

# ZONE 04 7条～8条周辺・常盤公園

**未来ビジョンの振り返り**

和やかな個性と  
みどりがあふれる  
カルチャーゾーン

**将来ビジョン**

- ・集まる人が一息つける
- ・文化的な活動を発信できる
- ・様々なチャレンジが起きている

**機能**

- ・豊かなみどりの中で滞在できる機能
- ・文化の拠点と連携した滞在機能
- ・個人店舗が連なるゾーンで  
新規開業できる仕組み

**全世代が集い交流する場**



**空き店舗利用**

**ワゴン出展**

**常盤公園との連携**

**常盤公園から連続する緑を増やす**

**高校生の自習**

**ぶんか小屋周りでの様々な世代の交流**

**ワゴン出展**

**緑のボリュームを集める**

**地面にさすポールを利用した照明やパラソル**

**遊具を中心とした  
子どもたちの遊び場**

**文化会館・市役所との連携**

**買物公園の北側入口としての  
駐輪場の設置**

**シンボル付近に  
溜まれる場所を**

**沿道空き店舗・空地への展開**



**空間テーマ**

「文化的活動が蓄積し発信される全世代の緑の溜まり場」

**方向性**

- ・学生、子供も主たるターゲットと位置付け、若い世代が滞在、交流することを促す
- ・遊具、コミュニケーションを促す什器を路上に増やす
- ・7条緑道、常盤公園との緑の連続性を考えた植栽配置

# 03 | エリアに必要な組織

## 買物公園エリアの組織が目指す方向

現在の買物公園の運営には、近隣の複数の商店会組合、市の複数の部署、一般社団法人や市の外郭団体など、多数の団体や人が関わっています。未来ビジョンの実現を目指す上で、より風通しよく、各事業が連携できる体制づくりが必要となっています。

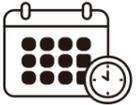
エリアに関わる人々や団体、意見交換・情報共有などを行う場がエリアプラットフォームです。

住民・商店街・事業者など、エリアに関わる人々同士の意見交換や情報共有を行う場として、「買物公園エリアプラットフォーム」が2024年に立ち上がりました。エリア全体のことを「じぶんごと」として活動する人々が集まり、連携して活動しています。

エリアプラットフォームのエンジン役として「中間支援組織」が必要になっています。

エリアプラットフォームの運営・事務局機能の他、エリア全体のための事業や支援を実際に担う団体として民間主体の中間支援組織が必要となっています。組織構築に際しては、今の買物公園に必要な機能を集約し、中間支援組織を立ち上げます。

### 買物公園エリアのマネジメントに必要となる機能

ジャンル	項目	今は……	
ハード面の整備・管理・運営 	路面	市 道路関連部署	
	植栽（街路樹）	市 道路関連部署	
	電源	観光コンベンション協会	
	水道	企画委員会	
	植栽ポット	企画委員会	
	街灯フラッグ	企画委員会	
	オープンテラス	まちなかマネジメント協議会	
	ソフト面での支援 	スケジュール調整	企画委員会・まちなかマネジメント協議会
		出展希望者の相談／支援	まちなかマネジメント協議会
		沿道／近隣店舗との調整	企画委員会
自主イベントの主催		企画委員会・観光コンベンション協会 など	
什器の貸し出し		まちなかマネジメント協議会 など	
総合的な取り組み	空き家・空き店舗対策	市 経済部局・商工会議所 など	
	沿道の建築開発との連携	市 建築指導・都市計画関連部署	

同じ空間を複数の主体が管理し、やや複雑化している

申請先が複数あり全体像の把握が難しい

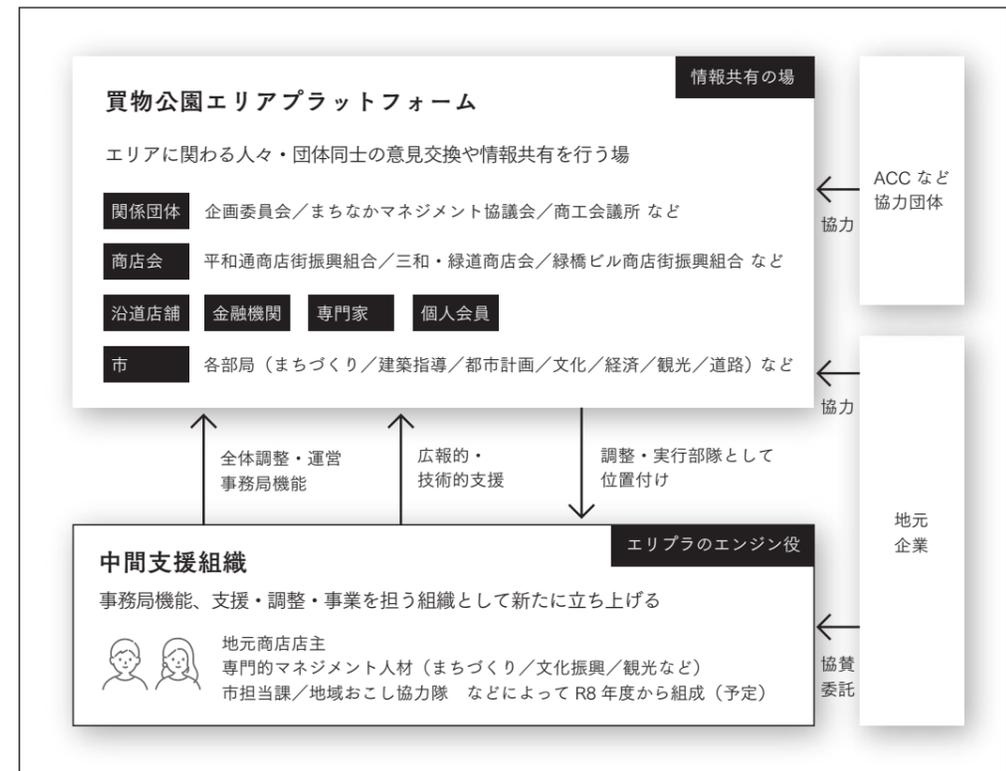
### 現在抱えている課題

- ・組織の林立による連携不足（全体の施策検証の不足）
- ・各組織間の情報共有の不足
- ・買物公園における事業の担い手不足
- ・買物公園の利用に関する各種手続きの複雑性
- ・インフラ管理の複雑性（電気・水道）
- ・インバウンドへの対応
- ・空き店舗の活用
- ・駐輪場と買物公園とが連携していない
- ・再開発事業者へのアプローチの手段がない
- ・沿道建物の景観整備・修景
- ・エリア内の回遊の不足
- ・樹木管理の問題（生育不良や剪定管理）

### 解決の方向性

- 商店街／住民のそれぞれのことだけではないエリア全体の情報共有や協力を促す「場」として「エリアプラットフォーム」の機能を強化する
- エリア全体のことを戦略的に考えて事業の連携支援をし、動かす組織として「中間支援組織」を立ち上げていく
- エリアプラットフォームでの情報共有と議論から戦略的により良い形を模索していく

### 今後目指していくべき組織の体制





# A 空間デザイン

## Action A-1

### 市民が望む買物公園像の確認と実証実験

2年間の社会実験を受けて、常設・半常設化を前提とした買物公園のあり方を構想し、市民に求められている空間を確認します。  
また R8 年の夏に、市民意見を集め具体的に確かめる実証実験を行います。



**実施主体** 市・エリブラ  
**実施時期** 2026 (R8) 年度

## Action A-2

### 新しい買物公園像の具体化 (計画・設計)

アクション A-1 の検討をもとに、関係する組織や人々と協議をしながら具体的な計画・設計を行います。

**実施主体** 市・エリブラ  
**実施時期** 2027 (R9) 年度～

## Action A-3

### 空間リニューアル

買物公園 60 周年 (R14 年) の完成を目指して、順次リニューアルを行います。

**実施主体** 市  
**実施時期** 2029 (R11) 年度～

## Action A-4

### 空き店舗・空き家の現状把握と施策検討

エリア内の空き店舗・空き家の既存調査の内容を整理し、現状把握に必要な追加の調査等を行いつつ、利用者と空き家をマッチングするサービスなど可能な施策を検討します。



**実施主体** 市・エリブラ・商工会議所など  
**実施時期** 2026 (R8) 年度～

## Action A-5

### エリア内の空き店舗・空き家関連施策の実施

アクション A-4 で検討した施策を実施します。アクション B-1、B-2 で出展してくれる出展者ネットワークを活用し、買物公園エリアへの定着を促します。



京都市事例

**実施主体** エリブラ・沿道事業者など  
**実施時期** 2028 (R10) 年度～

## Action A-6

### 沿道再開発事業との意見交換

マルカツ・オクノ跡地といった買物公園沿道の大型敷地で再開発事業が進もうとしている現状に鑑み、事業者や関係者と意見交換を行い、買物公園の空間をよりよくするための方策を検討します。



**実施主体** 市・エリブラ  
**実施時期** 2026 (R8) 年度

## Action A-7 Action A-8

### 再開発事業との連携のための方策検討 再開発事業と買物公園をつなぐ連携支援

今後も想定される買物公園沿道やエリア内の再開発事業に対して、買物公園とつながる公共空間の設置等を誘導するため、連携・支援を行います。



**実施主体** 市・エリブラ  
**実施時期** 2027 (R9) 年度～  
東京都千代田区事例

## B 空間の利活用促進

### Action B-1

#### 実証実験による利用ルールの試行と検証

2年間のバスキングエリア設置をもとにして改善した利用ルールをふまえ、広場条例化を見据えた実現可能な運営体制を試行します。見えてきた問題点は都度改善し、恒常的に実施可能なルールをつくります。

実施主体  
市・中間支援組織

実施時期  
2026 (R8) 年度

### Action B-2

#### 広場条例の施行開始（広場利用開始）

平和通買物公園の道路を広場とする条例を施行し、ワンストップ申請で利用者が買物公園内の空間を利用できる仕組みを整えます。初期段階では市が直営で管理しつつ、翌年からの指定管理を見据えた準備を整えます。



札幌市事例

実施主体  
市

実施時期  
2027 (R9) 年度

### Action B-3

#### 買物公園広場条例に伴う指定管理の確立

買物公園における広場条例の運用について、市の直営から、中間支援組織による指定管理体制に移行します。



札幌市事例

実施主体  
中間支援組織

実施時期  
2028 (R10) 年度～

### Action B-4

#### 駅前広場等を含めたエリア一体の統合的管理

買物公園だけではなく、市の直営である駅前広場の運営も含め、エリア内の公共空間の管理を一体的に中間支援組織が担うことでエリア全体の価値の向上を目指します。



実施主体  
中間支援組織

実施時期  
2030 (R12) 年度～

## C 買物公園を支える体制づくり

### Action C-1

#### プラットフォーム会員の増加と活動の展開・連携・情報発信

スクール事業など、エリプラの会員や賛助会員（支援企業）等が増える取り組みを行います。その上で、会員の独自の活動を展開し、お互いの活動が連携できるようにするとともに、それぞれの取り組みをエリア全体の情報として発信していきます。

実施主体  
エリプラ

実施時期  
2026 (R8) 年度

### Action C-2

#### その他の組織との連携体制の構築・役割整理

次期中活組織の策定を契機として、買物公園エリアにある既存の組織や団体との連携を強化し、お互いの役割を整理します。

実施主体  
市・エリプラ・関係組織

実施時期  
2027 (R9) 年度～

### Action C-3

#### 中間支援組織の立ち上げと人材確保

具体的なまちづくりのアクションを実行・支援する組織として中間支援組織を立ち上げ、法人化を目指します。また、この組織を支える人材や自主財源を確保します。早い段階での都市再生推進法人化も検討します。

実施主体  
中間支援組織

実施時期  
2026 (R8) 年度～

### Action C-4

#### 指定管理の実施とエリア価値が高まる自主モデル事業実施

広場条例の運用における指定管理を民間ノウハウを持つ中間支援組織で実施することを想定します。利用料収入等を原資とし、エリア全体の価値を高め、エリアの回遊を促すような自主モデル事業も実施します。

実施主体  
中間支援組織

実施時期  
2028 (R10) 年度～

### Action C-5

#### イベント相談+支援機能のまちづくり窓口

フードテラスなど買物公園沿いに常設の窓口を設け、買物公園の利活用を促進します。具体的には、イベントの相談や各取り組みの支援・連携のための窓口とします。

実施主体  
中間支援組織

実施時期  
2026 (R8) 年度～

### Action C-6

#### 統合的なエリアマネジメント（中間支援）の拠点としての整備と運営

統合的なエリアマネジメント（中間支援）の拠点をエリア内に整備し、運営します。

実施主体  
中間支援組織

実施時期  
2028 (R10) 年度～

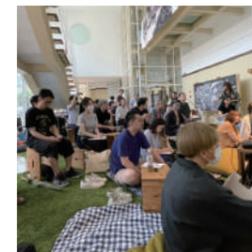
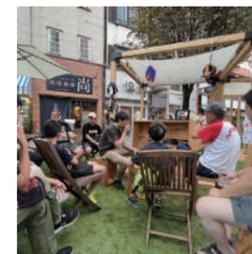


## 買物公園エリア プラットフォームとは

買物公園エリアでは、官と民が一体となった意見交換・情報共有などを行う場として「買物公園エリアプラットフォーム」（通称：エリプラ）を設立し、エリアに関わる様々な立場の人が参加しています。

情報や課題を共有しながら、エリプラで策定した買物公園エリア未来ビジョンの実現に向けて、同じ目標に向かって活動を行っています。

「同じ想いの人とつながりたい」、「未来ビジョンの実現に向けて活動したい」という想いを持っているあなた、ぜひ一緒に活動してみませんか？



【Web サイト】



買物公園エリアロードマップ（案）

～未来ビジョン実現のためのアクション～

作成：2026年3月

発行者：買物公園エリアプラットフォーム・旭川市

アートディレクション：ゲンママコト（カギカッコ）